# 令和７年度東通村防災訓練

　９月１日の「防災の日」に合わせ、令和７年度東通村防災訓練を実施しました。
　この訓練は「石持地区自主防災組織」の共催のもとに実施され、石持地区の住民３６人が参加し、消火器の使用方法や避難所の開設・運営方法について確認しました。
　今回は、能登半島地震等で被災地支援を行っている「一般社団法人　男女共同参画地域みらいねっと」等の団体を講師に迎え、実際の被災地での体験談を交えながら、避難所運営の工夫について学びました。

## ①まずは安全を確保！避難場所の確認

### 住民避難訓練

　道路の寸断を想定し、徒歩により避難経路を確認しました。
　こどもや高齢者を抱っこやおんぶして避難する場合は、時間を要します。各家庭で、指定避難所や高台まで実際に歩いてみるのもいいかもしれません。

## ②ほとんどの人が使ったことない！消火器の使用方法

### 初期消火訓練

　東通消防署の指導のもと、消火器を使用した初期消火訓練を実施しました。
　消火活動では、周囲の人に、火事を知らせることも大事です。また、屋内で火災が発生した場合、火が天井まで、燃え広がっている場合は、消火器では消火できないため、ただちに避難しましょう。

## ③ストックしていますか？非常食

### 炊き出し訓練

　乾燥ごはん「アルファ米」と豚汁１５０食を実際に作って味わいながら、いざという時の備えを学びました。
　アルファ米は、お湯や水を注ぐだけで、火や電気がなくても短時間で、ふっくらごはんができる備蓄食料品です。
　アルファ米の他にも、備蓄食料品等の防災グッズは、ホームセンター等で購入できます。

## ④被災地での教訓を学ぶ

### 災害時物品取扱訓練

　被災地支援に取り組んでいる（一社）男女共同参画地域みらいねっとの皆さんから、一昨年の元日に発生した能登半島地震における支援活動の体験談を伺いました。
　講話では、年齢・性別・言葉の違い等の多様な観点から、誰一人取り残さない支援の必要性等、今後に生かすべき大切な教訓が伝えられました。

## ⑤災害時も欠かせない！通信機器

### 展示物品

　ＮＴＴドコモから、災害時に通信を確保するための臨時基地局や、避難所で利用できる充電設備等が紹介されました。
　スマートフォン等の通信機器は、安否確認や情報収集のために災害時にも欠かせない存在です。災害情報を入手できるアプリや、災害用伝言板の活用も有効です。